

令和元年度 第1回山北町総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和元年11月26日(火)

開会：10時30分 閉会：11時25分

2 開催場所 山北町役場401会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 委員 6名

山北町長 湯川 裕司

山北町教育委員会教育長 石田 浩二

山北町教育委員会教育長職務代理者 野地 泰次

山北町教育委員会委員 小菅 正子

山北町教育委員会委員 今村 敏雄

山北町教育委員会委員 佐藤 直美

(2) 事務局 2名

参事兼企画政策課長 瀬戸 靖

企画政策課主幹 平野 泰輔

(3) オブザーバー 2名

学校教育課長 高橋 英治

生涯学習課長 松田 浩義

4 傍聴者 0名

5 会議概要

1 開 会 参事兼企画政策課長

2 町長あいさつ 湯川町長

3 教育長あいさつ 石田教育長

4 議 題

(1) 学校の働き方改革について

湯川町長	それでは、議題（1）学校の働き方改革について、石田教育長より説明をお願いいたします。
石田教育長	資料1により説明。 文部科学省が、平成31年1月に「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を策定したことを受けて、県教育委員会が令和元年10月に「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」を策定したものです。今後、この指針を元に、市町村においても働き方改革に資する方針を定めることから、現在、本町においても策定作業を進めているところです。 県の指針では、大きく「時間外勤務」「年次休暇」「部活動」の3つについて目標を掲げていますが、なぜ、教職員の働き方改革を進めなければならないのか、それについては3つのポイントが示されています。 一つ目は教職員自身の健康を守ること、二つ目は教職員が健康でないと子どもたちの授業に影響が出てしまうこと、三つ目は教職員を目指す若い人材が減少してきていることを理由としてあげています。 このようなことから、教育委員会としても学校と連携を図りながら、教職員の働き方改革に取り組んでいかなければならないと考えております。
湯川町長	ただいま石田教育長から説明がありましたが、ご意見、ご質問がありましたら発言をお願いいたします。
野地委員	年々、先生方の精神的な負担が大きくなってきているように感じています。多種多様な子どもたちへの対応を迫られていると同時に、保護者を含め地域社会がそれらの対応を求めている状況がありますが、現状としては、個別に対応できるだけの時間が取れていない状況にあると思います。そのような中、学校では、長年同じように実施してきた年間行事を見直すといった工夫もしていただいているところです。 一方、働き方改革によって時間外勤務も以前より減ってきている状況ではありますが、実際には、仕事を家に持ち帰って行っている状況も見受けられます。

そのような現状を見ますと、町として人的支援や物的支援を、働き方改革の中で行っていく必要があるのかなと感じているところです。

予算の問題もありますが、人的な支援としては、先生方をサポートしてあげられるような体制が組めないかと思います。物的な支援としては、教材準備の中で拡大コピーをかなり使用しますが、学校には大型プリンターがありません。通常のプリンターを使ってA3サイズで印刷し、それを貼り合わせていく作業に時間を要しますので、教職員の事務作業をスムーズにするための物的支援をお願いできないかと考えています。もう一つは環境更生ということで、川村小学校には大きな木がありますが、落ち葉や枝の整備を教職員で実施すれば、そちらに時間を取られてしまいますので、ボランティアも含めた町の支援をお願いできないかと考えています。

小菅委員

学校訪問の中で、何に時間がかかっているのかお聞きしたところ、授業の準備と先生同士の情報交換という声がありました。情報交換の時間を割くことは中々難しいと思いますので、授業準備の部分でサポートができればよいのかなと思います。授業内容は毎年変わる部分が多少あるのかもしれませんが、教材自体は共有できると思います。教材をクラウドに集めて共有し、誰でもアクセスできるようにしてはどうかとお聞きしたところ、一つ一つのデータ量が重すぎて容量的に保存できる場所が無いとのことでした。現状は、教職員がそれぞれUSBメモリに保存して、必要があれば受け渡しをしているのが実態で、情報共有されていなければ同じような資料を何回も作成し、二度手間が生じてしまっているようです。また、家に持ち帰ってどのような仕事をしているのかお聞きしたところ、主にインターネットを使った作業であることが分かりました。学校にはインターネット機が少ないので、他の先生の作業が終わるのを待つよりは、自宅に帰って作業した方が早いし効率的とのことでした。よって、学校での勤務時間は減っても自宅に持ち帰って作業をしており、仕事が減った気がしないという先生が多くいらっしゃるため、サポートの必要性があると感じたところです。

今村委員

学校訪問に行って感じたことは、教職員も減っている中で、働き方改革を考

えた時に、目先のことだけではなく根本的な所から見直していく、更には先生の意識を変えていく必要があるように感じたところです。

佐藤委員

学校訪問に行かせていただき、学校は古い体質の残っている組織だと感じました。現代の働く場においては、学生アルバイトさえ主張すべきところは主張するのに、学校組織の中では、人員配置や予算的な話があるため何も言えず、先生方の我慢によって組織が成り立っており、古い体質から抜けられていないように感じたところです。先生方も、この仕事は教職員が行うべき仕事なのかなど、日常の中で疑問が一杯あると思うので、それを主張できるような組織になれば、子どもたちへの教育に集中できるのではないかと思います。

また、川村小学校の先生から、側溝の堆積物の除去は教職員が行うべき仕事なのかといった素朴な疑問も出ていたので、ボランティアも含めた町の支援を検討してもらえないかと感じました。

石田教育長

子どもたちのために頑張るのは分かりますが、これからは、先生自身が自分の健康管理も含めて、働き方改革を意識した中で働いて欲しいと思います。

山北町では、他自治体より先行して普通教室にエアコンを設置していただきました。また、更に快適な教育環境を整えるため、本年度は特別教室にもエアコンを設置していただきました。

また、ICT教育の関係でも、三保小学校に1人1台パソコンを設置していただきました。この度、国から学校の児童・生徒が1人1台のパソコンを使える環境を整える方針が出されましたので、そういった面では、更なる取組みを進めていく必要があると考えているところです。

他にも、山北町では課題がありますが、給食費の公会計化については、給食費の管理が先生方の負担となっている状況の中で、第5次総合計画の後期基本計画にも入れさせていただきましたので、教育委員会としても町と一緒に進めていかなければいけないと考えております。

子どもたちへの人的支援についても、引き続き充実させることで、先生方により子どもたちのためになる教育を進めるため、色々な面で町にもご理解いただきたいと思います。

湯川町長

全国的に働き方改革が進められている訳ですが、それぞれの職場に様々な制約があり、思うように進んでいない状況があると思います。仕事とは別にコミュニケーションを図ることも、仕事をスムーズに進める上では必要なことだと思いますが、その手法は変化してきていると思います。昔であればノコミュニケーションが普通に行われていたと思いますが、現在はメールやSNSでコミュニケーションを図ることが多い時代ですので、何か新しい方法で働き方改革を進めばよいと考えています。

それでは、議題（１）学校の働き方改革については以上とさせていただきます。

（２）教育の諸課題について

湯川町長

次に、議題（２）教育の諸課題についてですが、本町における教育課題について、教育委員の皆様からご発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

小菅委員

最近、自律神経系の病気で「起立性調節障害」という病気が成長期の子どもに多く、朝起き上がれない、無理に起き上がると目まいや頭痛を発症して倒れそうになってしまう、起きるのを待っていると昼、夜まで起き上がれないという子が増えているそうです。

周りに同じような症状の子どもがいないと、さぼっていると勘違いされ、本人や家族に精神的な負担をかけてしまうことがあるようですので、病気への理解と、子どもや家族へのケアについて検討することが必要だと思います。

石田教育長

発達障害や心身症の子どもが増えてきているのは確かで、周りの人が病気という認識を持つことが大事だと思います。「起立性調節障害」は、不登校になるケースも多く見受けられるため、先生も含めた周りの大人の認識が必要ですし、サポートが非常に大切になってくると思います。

佐藤委員

大阪の小学６年生の女の子が誘拐された事件については、犯人とはツイッターで知り合ったということですので、いつどこで起きてもおかしくない事件だと思います。スマートフォンを子どもに与えている親は、皆心配していると

思います。スマートフォンの機能も進化している一方で、危険性も増えていますので、今後どのように防止し、子どもたちを守っていくのか、親も先生も一緒になって考えていかなければならないと思います。しかしながら、現時点でできる対応はとっていても、このような事件は起きてしまうのが現状です。

野地委員

今回の事件については、現代を反映した事件であったと思います。強引に連れ去ったのではなく、スマートフォンを通じて知り合い、別の子の話し相手になって欲しいとの呼びかけに応じてしまったのが、遠くの栃木県まで行くことになってしまったわけで、結果的に無事であったからよかったものの、色々と考えさせられた事件であったと思います。

学校では、携帯電話に関する犯罪防止の子どもたちへの勉強会や、教職員向けの研修会を行っていますが、保護者が危険を認識できるような講座や、地域といったもう少し広い範囲で参加してもらえるような方法を考えていかないと、子どもたちの安全は守りきれないのかなと思います。

石田教育長

現状、児童や生徒、保護者に対してスマートフォンの取り扱いについての説明は行っています。小学校から中学校に進級する時がスマートフォンを子どもに与えるタイミングとして多いので、中学校の入学説明会の時にも実施しています。また、先日、川村小学校で学校公開日があり、小学4年生になるタイミングで与えるパターンも多いことから講習会を行ったところ、保護者の参加が10人から20人位と少なく寂しい状況でしたので、保護者にも危険を認識してもらえるような工夫を行っていく必要があると感じたところです。

湯川町長

機能がありすぎて操作の仕方が分からないような現状がありますので、今後は、事件を未然に防げるよう、専門家による講習会を町としても行っていく必要があるのかもしれません。

今村委員

現代の子どもと大人の関係も大きな問題だと思います。地域の中で子どもの遊び場が少ないので、遠くの町に遊びに行ってしまう、大人の目が届かないような状況になっていると思います。子どもと大人、更には地域との関係性の中で問題が解決できるようになればよいと思います。

石田教育長

先日、川村小学校とフィリピンの学校とでスカイプを使った授業交流を行い

ました。また、第1回目の三保小学校の統合検討委員会を実施したところ、三保小学校と川村小学校とでスカイプを使って授業交流しましょうという意見が出ましたが、三保小学校の保護者から、スカイプによる授業交流だけでなく、直接会って触れ合う交流授業を教育委員会としても来年度考えて欲しいという意見が出ました。川村小学校に三保小学校を統合するにあたり、児童や保護者が心配なく統合を迎えることができる体制づくりが必要と考えています。

湯川町長

そのほかに、ご発言はございますか。

それでは、教育の諸課題については以上とさせていただきますが、最後に、教育に係わるご意見以外でも構いませんので、ご意見をお聞かせ願いたいと思いますがいかがでしょうか。

それでは、東京オリンピックの関係ですが、チケットを確保して子どもたちに観戦してもらえるように現在調整しております。単純に観戦するだけでも思い出に残るとは思いますが、事前に観戦する競技や出場する選手を調べて応援することも貴重な体験になると思います。

今村委員

山北町を通過するロードレース競技は現地で観戦できるのでしょうか。また、子どもたちの応援メッセージをコース上に設置することは可能でしょうか。

事務局

町では、山北町内を通過する1.6kmの間で横断幕を設置したいと考えており、現在関係機関と調整しているところです。現段階で設置できるかどうかは分かりませんが、子どもたちの応援メッセージも併せて設置できる方向で調整していきたいと考えております。

石田教育長

ロードレース競技のゴール地点は小山町の富士スピードウェイとなり、小学3、4年生と教職員、保護者のチケットを確保しましたので、子どもたちがどう関わっていくかも今後検討していきたいと考えております。

湯川町長

1.6kmの区間については急峻な場所ですので、人数的に大勢は難しいと思いますが、現地で観戦できるように調整をしていきたいと思ひます。

佐藤委員

丹沢湖ハーフマラソン大会の関係ですが、今まで出店できていた方が、今回、許可がおりず出店できない状況となってしまう、大変残念なことになりました。山北町の特色ある「食」を提供できるよう、来年度に向けて交渉してもらうこ

とはできないでしょうか。

松田課長

丹沢湖ハーフマラソンの事務局として回答させていただきます。今回、許可がおりなかった飲食店があると、直前になって聞きました。物産コーナーは、観光対策部として観光協会が取りまとめているので、来年度はしっかりと確認したうえで、広く出店していただけるよう調整していきたいと考えております。

佐藤委員

今回許可がおりなかったのが、やむを得ない全国的な基準なのかどうか確認をお願いしたいと思います。

湯川町長

その他にご発言はございますか。なければ、本日の会議の議題はこれですべて終了となりましたので、進行を事務局にお返しします。

5 その他

事務局

次回の会議日程ですが、2月の中下旬を予定しています。具体的には改めて調整をさせていただき、ご連絡させていただきます。

6 閉 会 参事兼企画政策課長

以 上